

## 1. 研究概要

主題 粘り強く取り組む子  
副題 自ら学習を調整する姿を求めて

### 目指す児童像

「強い子 明るい子 美しい子」  
粘り強く取り組む子

### 目指す授業像

「教材研究・授業研究を充実させた上で  
『楽しい授業』」  
児童が自ら学習を調整する姿のある授業

### 研究テーマ設定の理由

2021年、中央教育審議会が「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して一全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適化学びの実現（答申）」を出した。一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。そのために、「日本型学校教育」の成果や強みの継承・発展、「正解主義」や「同調圧力」への偏りからの脱却、「個別最適化学び」と「協働的な学び」の一体的な充実等が大切だと示されている。

奈須正裕氏は、「『令和の日本型学校教育』を構想するとき、まず立ち現れてくるのは、すべての子供が自立した学習者として育つことだろう。子供がICTも活用しながら自ら学習を調整し、学び続けていけるようにするには、「指導の個別化」と『学習の個性化』からなる『個別最適化学び』の充実が不可欠になってくる。一人一人に合った指導方法・教材・学習時間等の柔軟な提供（指導の個別化）を進めるとともに、自分に最適な学びについて知り、さらに自己調整しながら自力で学習を計画・実行できる子供の育成（学習の個性化）が目指される。」と述べている。

石川県も、令和5年度学力向上の重点として「『個別最適化で『協働的な学び』の一体的な充実』をあげている。

このような動向を受けて、これまで以上に自立した学習者を目指し、一人一人の学び手に寄り添った取組を進めていくべく上記の研究主題・副題を設定した。

一昨年度末に、本校の児童の実態を話し合った際、意欲が低く、なかなか学習内容が定着しないことが課題として挙げられた。全国学力・学習状況調査の結果からも前述の課題が浮き彫りになった。学びを駆動させる主体的に学ぶ姿が一層求められることから、昨年度は、「意欲」「粘り強さ」をうむ授業づくりに重点を置いて研究を進めてきた。「意欲」を高める手立てを積み重ねて最後まで学びに向かう「粘り強さ」をうむ授業、再思考の場を設定して、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けて「粘り強く」考える姿をうむ授業が見ることができた。これらの実践から、授業において、子供たちの思考を深める発問の重要性に改めて気付かされた。

しかし、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料には、「自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。」と記されている。つまり、粘り強い取組を行おうとする姿と自らの学習を調整しようとする姿は相互に関わり合っている。この点を顧みたま時、自立した学習者を育てるという目的をもって、私たち教師は、児童が自らの学習を調整しようとする場や時間を保障してきただろうか。児童が自らの学習を調整できるような手立てを講じてきただろうか。重要なのは、子供たちが何を学んでどんな力を付けていくかということである。

そこで、今年度は、昨年度までの研究の成果と課題を踏まえつつ、児童が自らの学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む姿を目指して研究を進めていく。

自らの学習を調整する際には、ICTの活用も必要不可欠である。情報推進部と連携を深めて研究を進めていく。

### 研究内容

#### 重点1 児童自身が決める場の設定

- ・一人一人に合った学習内容（目標・教材・学習課題等）
- ・一人一人に合った学習方法（学習時間・学習形態・活動場所等）

#### 重点2 資質・能力を育成するための教師の関わり

児童が自ら学習を調整しつつも、資質・能力の確実な育成を図るための教師の関わりを探る。  
（学習環境整備・一人一人の子供の学びの見取り・個別最適化学びを協働的な学びに生かし、さらに個別最適化学びに還元する指導・助言・支援等）

2. 研究構想図

学校教育目標

人間性豊かな児童の育成をめざし、知・徳・体の基礎を培う

主題 粘り強く取り組む子

副題 — 自ら学習を調整する姿を求めて—

自ら学習を調整

重点 1

児童自身が決める場の設定

個別最適で  
協働的な学びの  
一体的な充実

重点 2

資質・能力を育成する  
ための教師の関わり

粘り強さ

さわやかタイム

木曳野しぐさ

家庭学習

粘り強さを発揮できるように、知識・技能の確実な定着を図る

互いに認め合う温かい人間関係づくり